

Link つながる Live 生きる Learn 学ぶ Labour 労働 Liberty 自由

エルコンパス

宝塚市立男女共同参画センター・エル

2022年7月 Vol.48

宝塚市立男女共同参画センター・エルは、すべての人が個人として、性にとられず、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる「男女共同参画社会」の実現を目指すための施策推進の拠点施設です。センターの愛称“エル”は上記の5つのLの頭文字をとったもので、市民からの公募で決定しました。

特集

孤独な子育てから、支え合う子育てへ

スター・ペアレンティング講座 開催報告	P.1
孤独な子育てから、支え合う子育てへ	P.2~P.3
講座案内：8月～11月	P.4~P.6
エルフェスタ案内・情報図書	P.7
施設利用案内	P.8



「他の人の意見が聞けて、気づきがたくさんあった」

～令和4年度 スター・ペアレンティング講座 開催報告～



当センターで毎年行っている【～たたくず・甘やかさず・子育てする方法～スター・ペアレンティング講座】。今年度は5月中旬から5週に渡って開催しましたが、初回から和気あいあいとした雰囲気の中、特にグループワークでは大いに盛り上がり、講座の前後や休憩時間にも、近くの席の方と楽しそうにお話されていた方もいて、「他の人の意見が聞けて良かった」「自分一人では考えが固まりがちになる。具体的な問題解決のヒントや気づきが沢山あった」という感想を多く頂きました。日々悩みが付きにくい子育てでも、“ちょっと”外に出かけ、“ちょっと”した疑問や不安を誰かと共有し、“ちょっと”相談するだけで、気持ちが楽になる事もあると思いますが、皆さんの様子からは、その“ちょっと”が気軽にできなかったコロナ禍での子育ての困難さを感じずにはいられませんでした。今回初めて一時保育を利用する保護者の方には、「家族以外の人に子どもが慣れていません。講座中泣き続けたらどうしよう…」という方もいましたが、回を重ねるごとにお子さんも保育者や保育ルームの雰囲気慣れ、親子ともに安心された様子でした。センターではコロナ禍でも、感染防止対策を徹底し、皆さまのご協力を頂きながら、講座や相談事業、一時保育を継続して参りました。これからも、子育てに日々頑張っておられる皆さんに、「来てよかった」と思っていただけのような事業を企画・運営していく所存です。ご来館の際は、ぜひ気軽にセンタースタッフにもお声かけください♪

特集

孤独な子育てから、支え合う子育てへ

【コロナ禍と、子育て世帯の孤立】



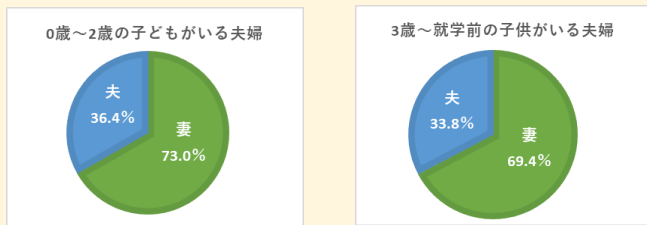
少しづつ落ち着き始めた感のあるコロナ禍ですが、厚生労働省の報告によると、非常事態宣言で社会活動が止まった令和2年4月から令和3年3月にかけて、児童相談所が親などの保護者から18歳未満の子どもが虐待を受けたとして対応した件数は、20万5044件に上り、前年度より5.8%増となりました。その背景には、コロナ禍のステイホームで、保護者がますます孤立し、不安や悩みを深め、虐待のリスクが高くなった事などが考えられます。

コロナ禍では、もともとあった社会の弱点が浮き彫りになりましたが、子どもや子育てをめぐるセーフティネットの脆弱さもその一つと言えます。地域では感染リスクなどの影響から、子どもを見守る居場所の事業縮小や、大人数が集まる親子イベントなどの中止が相次ぎ、ここ宝塚市立男女共同参画センターにも、「子どもと気軽に出かけられる場が、ほとんどない」「狭い家で子どもとこもりきりで、息が詰まりそう」という声が寄せられました。

【育児の歴史と子育てをめぐる性別役割意識】

今、日本の家庭で育児を担っているのは、圧倒的に母親である女性です。男性の育児参加も徐々に進んでいますが、先進国に比べると男性の育休取得率（2020年度12.65%）は圧倒的に低く、育児は母親がするものという意識が未だ根強いと言えるでしょう。

育児の分担割合(妻・夫)



「家事と仕事のバランスに関する調査」(令和元年度内閣府委託調査・株式会社リベルタス・コンサルティング)より作成

最新の全国家庭動向調査（2018年度 国立社会保障・人口問題研究所）の妻の意識調査でも「子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念したほうがよい」という考え方に、賛成が71.2%（6142人中まったく賛成23.4%どちらかという賛成47.8%）という結果が報告されました。しかし、“小さな家族の中で、子育ては主に母親が担う”というイメージは、歴史的にみると普遍的なものではありません。

江戸時代、武家では“跡目相続”という目的のため、家の最高責任者である父親が子育ての責任を負っていました。庶民の間では、子どもは“共同体（村）の子ども”という視点があり、地縁ネットワークの中でさまざまな大人や年代を超えた交流の中で育てられました。

明治以降、産業が近代化して職場と家庭が分離すると、男は生産活動のために外で働き、女は家で優秀な次世代を育成するという家庭内役割が形成されていきます。また、女性は“良妻賢母”として家事や育児を担い、職業や兵役について夫への内助を通して、国の役に立つとも考えられるようになりました。

その後、戦後の高度成長期を境に、雇用者として都会で会社勤めをする男性が急増し、夫婦と子どもだけの核家族が増えていくと、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別役割分業体制が確立していきます。

それは当時、経済産業に限らず福祉の分野でも、社会を維持発展させていくための合理的、効率的な体制であるとされ、企業のモーレツサラリーマンとして働くことをいとわぬ父親と、家庭にいることを最良とし、子どもの養育責任をまかされる母親という家族像が定着していきました。

【母親の責任と孤独、子育てしにくい国 日本】

このように調べていくと、「育児は母親の仕事」というイメージは、近代以降に強調されてきたイデオロギー（思想）であることがわかりますが、「母性は女性が持つ本能であり、母親は子育ての適性を持ち、子育てを喜びとするはずだ」という母性観や、子どもに何か問題が起こると、母親のせいだと責めてたてる声を、直接的でなくとも聞いた事のある人は少なくありません。

「子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念したほうがよい」という考え方に対して、1998年の厚生白書で「合理的な根拠は認められない」と述べられているにも関わらず、残り続けています。

核家族の母親が社会からの疎外感に悩み、子育ての責任を負いながら子どもと密着し、苛立ちや焦躁感を募らせているという育児不安も、1970年代からすでに問題視されてきたのですが、未だ解消はされておらず、日本の子育て、特に最初の関門である乳幼児期の社会的支援は、欧州の主要国に比べて手薄なままです。

このコロナ禍で妊娠・出産を経て、子育てをしている方は、さらなる孤独（孤育て）と困難を強いられているのではないのでしょうか。



【孤育てから、支え合う子育てへ】

コロナ禍では、人とのつながりの大切さを改めて見直した方もいるでしょう。子育てを母親一人だけのものにせず、保護者の気持ちに寄り添い、世代を超えて自分の子ども以外の成長にも、みんなで手を差し伸べ、支え合う社会であって欲しいと願います。

北欧の乳幼児子育てに関する公的支援

フィンランドでは各自治体に、収入や生活環境に関係なくすべての人が無料で同じサービスを受けることができる「ネウボラ」という育児支援の施設があり、妊娠中から子どもが6歳になるまでの窓口を包括して束ね、健診や相談、生活面のサポートを切れ目なく行っています。

ノルウェーでは、親の就労状況に関係なくすべての子どもが保育園に通うことができ、社会との接点を失いがちな親の孤立を防ぐことも利用の目的とされています。

そもそも、本来地域や大家族の単位で担ってきた育児を、母親一人だけであるという状況は、困難があっても当たり前なのですが、

宝塚市立男女共同参画センターでは、すべての主催講座や相談事業で、1歳から就学前までの子どもの一時保育を設けており、この度下記の通り、保育者募集のための養成講座を行います。

子どもと離れて自分だけの学びの時間を過ごしたり、託児の体験を通して寄り添ってくれる人が周りにいると分かるだけで、気持ちが救われる方たちがいます。大人が支え合い、自分を見守ってくれる体験は、お子さんにとっても心の財産になります。性別にとらわれない保育や、保護者の気持ちに寄り添った保育と一緒に考え、保育者として活動してみませんか？

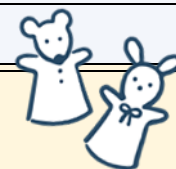
8月3日（水）から受付

9月22日～10月20日（毎週木曜日） 全5回 10:00～12:00

一時保育者募集のための養成講座～ジェンダーレスな保育を考える～

9月22日	オリエンテーション・子育てにジェンダーの視点を	NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長 田上時子さん
9月29日	乳幼児の一時保育・子どもの発達段階	甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科 助教 幸田瑞穂さん
10月6日	「あたりまえ」「ふつう」ってなんだろう？ ～性の多様性から「じぶん」について考える子どもたち～	にしいる i-Ru 田中一步さん 近藤孝子さん
10月13日	子どもと出会う うたあそび 人とふれあう あたたかさ ～仲間と集う楽しさを～	公益社団法人子ども情報研究センター 谷畑恵子さん
10月20日	ふりかえり・一時保育者になる方へ	田上時子さん

- 対象：テーマに関心のある方 30人
(センターの一時保育者に関心のある方。保育未経験の方もご参加いただけます。)
- 保育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順 保育締切：9/14（水）



講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

親子育ちセミナー

9月3日(土)・4日(日) 全2日間

7月4日(月)から受付

3歳からのCAPワークショップ



CAPとは子どもを取り巻く暴力(いじめ、誘拐、虐待等)から自分で自分の身を守るためのプログラムです。子ども達に「自分の大切さ」を教え、一人ひとりが本来持っている力を引き出します。ディスカッションや人形劇を交えたワークで、3歳~就学前の子どもさんでも安心して楽しく参加できます。

●こどもワーク 全2日間

3歳~就学前の子ども 15人 ※子どもが参加する場合は、必ず保護者(おとなワーク)の参加をお願いします。

9月3日(土) 10:00~11:30: 子どもの権利・いじめロールプレイ・誘拐ロールプレイ

9月4日(日) 10:00~10:30: 性暴力ロールプレイ・先生ロールプレイ ※保護者は待合室で待機

●おとなワーク 1日のみ

子どもに関わる大人(保護者・祖父母・学校関係者など、CAPに関心のある方) 30人 ※大人のみ参加も歓迎!

9月3日(土) 10:00~11:30: 子どものいじめ/虐待を取り巻く問題について、援助する際に役立つ技術など

●講師: NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ

●保育: 9月3日(土)のみ 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切: 8/26(金)



【子育てパパ応援企画】男性セミナー

9月17日(土曜日) 13:30~15:30

8月3日(水)から受付

トークイベント 北欧パパ×日本パパの子育てリアル



“イクメン”という言葉や、「父親とはこうあるべき」ととらわれず、子どもとの関わりの中で、ありのままに親になる。長年相談員として日本のパパの悩みに寄り添ってきた濱田さんと、来日19年、昨年一年間1歳と4歳の子どもを連れ故郷ノルウェーで子育てを経験されたヨーランさんとの、赤裸々トーク。自分らしい、楽な子育てのヒントを見つけに来てください。

●ゲスト: ヴォーグ・ヨーランさん(ノルウェー出身・神戸女学院大学准教授)

●ファシリテーター: 濱田智崇さん(京都橘大学准教授・男性専用「カウンセリングオフィス天満橋」代表)

●対象: 性別に関わらず テーマに関心のある人 35人

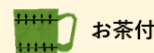
●保育: 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切: 9/9(金)



11月12日(土曜日) 10:00~12:00

10月3日(月)から受付

集まれ! パパの本音座談会



子育てに関するモヤモヤや疑問を、同じパパ同士、安心できる場でざっくばらんに話してみませんか。「そんなこと、あるある!」への気づきや、「自分ならどうする?」のきっかけづくりにも。子育て体験を語り合う「パパの子育てカフェ」などの進行役をはじめ11年目。父親の悩みに寄り添ってきた、自身たちも子育て中の、臨床心理士チーム“チームパカフェ”が進行します。パパ友づくりにもぜひどうぞ♪

●ファシリテーター: チームパカフェ(濱田智崇さん・福島充人さん・新道賢一さん)

●対象: 子育て中 または妊娠中のパートナーがいる男性 20人

●保育: 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切: 11/4(金)

講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

起業・就労セミナー

9月5日（月）から受付

10月15日～10月29日（毎週土曜日） 全3回 10:00～12:00

これからの「わたし」と「働く」を考える



働き方には実は多くの選択肢があり、どんな方も仕事につながる“強み”を必ず持っています。参加者同士のゆるやかなつながりの中で、働くことへの自分の考えを深め、何ができるのかを探してみましょう。

10月15日	自分を知る	10月22日	社会を知る	10月29日	社会とつながる
--------	-------	--------	-------	--------	---------

- 講 師：佐々木妙月さん（情報の輪サービス株式会社 代表取締役）
- 対 象：テーマに関心のある女性 20人（全回参加できる方優先）
- 保 育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順 保育締切：10/7（金）



情報リテラシー

9月5日（月）から受付

10月15日～10月29日（毎週土曜日） 全3回 13:30～15:30

ジェンダー視点から読み解く メディア・リテラシーとニュース報道

「フェイクニュース」と呼ばれるものも含め、様々な情報があふれるメディア社会の中で主体的に生きるために、私たちはメディアとどう向き合っていけばよいのでしょうか。ニュース報道に着目し、メディアとは何か？メディアが日々伝える「ものの考え方」を、参加と対話のワークショップでジェンダーの視点から読み解き、考えます。

10月15日	メディア・リテラシーとは	10月22日	ニュース報道は、どう構成されているか
10月29日	私たちのメッセージをつくらう		

- 講 師：西村寿子さん 田島知之さん 高橋恭子さん（NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所）
- 対 象：テーマに関心のある人 30人
- 保 育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順 保育締切：10/7（金）



サポートグループ

9月5日（月）から受付

10月28日～11月25日（毎週金曜日）全5回 10:00～12:00

これからどう生きる？ パートナーとの関係性を考える



コロナ禍の生活の変化で、これまであまりみえてこなかったパートナーとの考え方や生活習慣に違いを感じ、相手に振り回されたり、戸惑いながら暮らしていませんか。いつの間にか積み重なったストレスや婚姻関係の継続の迷いなど、モヤモヤした揺らぐ想いをサポート・グループで話し合ってみましょう。

- ファシリテーター：宮本由起代さん（NPO法人心のサポート・ステーション代表理事/カウンセラー）
- 対 象：テーマについて悩む女性 12人（全回参加できる方優先）
- 保 育：10人（1歳～就学前まで） 要予約・先着順 保育締切：10/20（木）

感染予防対策実施中



宝塚市立男女共同参画センターでは、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って講座等を開催いたします。ご利用にあたっては随時HP等をご確認の上、ご協力をお願いいたします。

講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

ほっとサロン

7月4日(月)から受付

8月9日(火) 10:00~12:00

わたしに戻る 読書の時間



飲み物あり♪



子育てから ちょっと一息ついて、情報・図書コーナーにある図書や雑誌を読んでリフレッシュ しませんか！
新しいスタートに向けての情報収集もできます

- 対象：子育て中の女性 20人
- 保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：8/1(月)



コミック、
雑誌あります♪

11月22日(火) 10:00~11:30

10月3日(月)から受付

親子で楽しむキッズルーム(クリスマス)

お子さんを遊ばせながら、気になることを話してみませんか。「こんな時どうしてる?」「それ試してみよう!!」
子育てが楽しくなるヒントが、きっと見つかります。親子遊びや絵本の読み聞かせ、簡単なクリスマスのミニ工作など、
楽しいこといろいろ。親子で楽しむキッズルームへぜひどうぞ♪


- 対象：乳幼児とその保護者 10組
- 進行：NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 スタッフ



パープルリボンカフェ

予約不要・当日センターにお越しください

11月29日(火) 10:00~12:00

パープルリボンカフェ 

皆でパープルリボンづくりをしませんか?リボンにお好みの飾りをつけるだけ。お茶を飲みながら手を動かして、みんな
で“わいわい&ちくちく”しましょう!フレンドシップキルトもあります。

- 持ち物：裁縫道具(お持ちであれば糸・針など。センターでも用意しています。手ぶらでどうぞ!)
- ☆一時保育はありませんが、お子さん連れも参加OKです☆

令和4年度宝塚市
男女共同参画プラン推進フォーラム

「弱者を見捨てる社会」になるのか
「助け合い」を復権させる社会を目指すのか。
今、わたしたちは大きな分岐点にいる。

入場無料

雨宮処凛さん講演会
「ただ生きる」
~無条件の生存の肯定~

1975年生まれ、ロスジェネ世代。
いじめ、不登校、リストラット…。
「生きづらさ上級者」を自称する雨宮処凛さんが
15年以上格差・貧困問題と関わり
今、コロナ禍の支援現場で思うこと。



開催予告

2022年12月11日(日)

13:30~15:30

会場：ソリオホール

定員：250人(要予約・先着順)

※一時保育、手話通訳、要約筆記あり

受付 10/3(月)AM9時~

詳しくは決まり次第、HP等でお知らせいたします



令和4年度

親子で楽しめるイベントです！♪ ご来場おまちしています♪

8/20(土)

エルフェスタ



入場無料・予約優先 (一部参加費あり・複数参加可・先着順)

<p>マイクロプラスチックストーリー ぼくらが作る 2050 年 ★市民企画支援事業</p> <p>ドキュメンタリー映画上映</p> <p>10:00~11:30 定員:40人</p> <p>保育付き(1歳~就学前まで) 要予約</p> <p>保育締切:8/12(金) ©Cafeteria Culture 2022 宝塚友の会</p> 	<p>親子でほっこり絵本の時間 ★</p> <p>絵本の読み聞かせ 赤ちゃんも小学生も親子で参加 OK♪</p> <p>①10:30~11:00 ②13:00~13:30</p> <p>定員:各回 12組</p>  <p>NPO 法人「絵本で子育て」センター支部絵がお</p>
<p>ふ〜せんで笑顔いっぱい</p> <p>ふ〜せんで、猫、はち、剣を作ろう!</p> <p>①10:00~11:00 ②11:15~12:15</p> <p>定員:各回 40人 材料費 1セット ¥100</p> <p>バルーンアート愛好会「ふ〜せんや」</p> 	<p>おもしろマジック「あれれ…」</p> <p>マジック演技や、マジック体験★</p> <p>①12:45~13:15 ②14:30~15:00</p> <p>定員:各回 20人 マジック体験対象年齢:5歳以上</p>  <p>宝塚マジック同友会</p>
<p>虹に向かってセミが飛ぶ</p> <p>ぐるぐるレインボーと鳴きセミ作り 新日本婦人の会 宝塚支部</p> <p>①13:30~14:15 ②14:15~15:00</p> <p>定員:各回親子 10組</p> <p>材料費 1セット ¥100(親子で1セット)</p> 	<p>電子かみしばい「モモ・エコタローの冒険」 OBK 未来</p> <p>楽しい塗り絵と不思議な実験もあるよ!</p> <p>13:30~14:30 (開場:13:20)</p> <p>定員:15人</p> <p>対象:小学生</p> 
<p>作ってあそぼう かんたん工作</p> <p>〜輪ゴムてっぽう、ミラクル楽器〜 宝塚ふあみりい劇場</p> <p>①12:00~12:30 ②12:30~13:00</p> <p>③13:00~13:30 ④13:30~14:00</p> <p>定員:各回親子 8組</p> <p>対象:幼児~(小学1年生以下は保護者同伴)</p> 	<p>魚釣りゲーム・もじのうえに絵をかこう</p> <p>コインおとし 宝塚男女共同参画センター連絡協議会</p> <p>①10:30~10:45 ②10:45~11:00 ③11:00~11:15</p> <p>④11:15~11:30 ⑤11:30~11:45 ⑥11:45~12:00</p> <p>定員:各回親子 3組</p> 

受付 8/3(水) 9:00~から
電話 0797-86-4006 か 窓口にて
ご希望のイベントをお伝えください

主催:宝塚男女共同参画センター連絡協議会・宝塚市立男女共同参画センター

情報図書

入場無料

※関連講座案内 P4 男性セミナー

子育てパパ応援企画

スウェーデンのパパたち 写真展



2022 9/18(日) - 9/23(金・祝)

※展示時間は開館時間に準じます。月~土 9時~21時 日祝 (18.19.23日)9時~17時

展示 宝塚市立男女共同参画センター館内
宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階 (JR・阪急宝塚駅すぐ)

多くの男性が育児休暇を取得している国、スウェーデン。半年以上の長期育児休暇中の父親たちの姿を写真家ヨハン・ベグマン氏が撮影しました。パパと子どもたちの悲喜こもごもな表情と、メッセージが織りなすスウェーデン大使館主催の心温まる写真展です。



Swedish Dads

Photo by Johan Bävman

情報図書コーナーでは、女性問題の解決や男女共同参画社会をめざすさまざまな活動をサポートする情報を収集し発信しています。図書貸出は[お一人5冊・2週間]です。宝塚市在住以外の方も借りられます。



【開催予告】 令和4年度 市民公開講座

われ弱ければ 矢嶋栞子伝



入場無料

2022年 日本 110分 原作:三浦綾子
©現代プロダクション 主演:常盤貴子

上映会&監督トーク
12月18日(日)



監督・ゼネラルプロデューサー 山田 火砂子さん

受付 11/4(金)~詳細決まり次第、HP等でお知らせします

施設利用案内



詳しくはセンター、またはセンターのHPで
<https://www.takarazuka-ell.jp>
 電話番号：0797-86-4006

学習交流室等のご利用

センターでは、学習交流室（5室）とプレイルームを有料でお貸ししています。グループ活動・ミーティング・講演会等にご利用いただけます。

活動内容・利用者の居住地により受付開始日や料金が異なりますので、詳しくは受付までお問い合わせください。

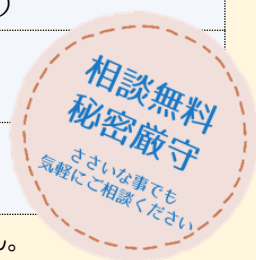
※営利を目的とした活動（「カルチャー教室」や「おけいこごと」の指導者による利用を含む）はご利用いただけません。



女性のための相談室

予約番号：0797-86-4006

電話相談	月・火・木・金・第2、3、4土曜日 10時～12時／13時～16時 直通電話（予約不要）：0797-86-3488
面接相談	第2・4水曜日 10時～、11時～、12時～ ※要予約・相談時間 50分
法律相談	第1土曜日（原則） 14時～、14時45分～、15時30分～、16時15分～ ※要予約・相談時間 45分（市民対象 原則1人1回限り）
起業相談	第1・3水曜日 10時～、11時～ ※要予約・相談時間 60分
チャレンジ相談	第1水曜日（原則） 11時～、12時～、13時～ ※要予約・相談時間 50分



※電話相談以外はすべて一時保育あり（要予約） 年末年始及び祝日の全相談業務はありません。

セクシュアルマイノリティ電話相談

専用電話番号：0797-71-2136

毎週水曜 15時～18時（祝日・年末年始を除く）（問い合わせ：宝塚市役所 人権男女共同参画課）

自分の性や性的指向に伴う相談をはじめ、さまざまな相談に応じます。本人、家族、友人、教員などなたでも相談できます。

宝塚市立男女共同参画センター・エル

指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

開館時間：月曜日～土曜日（9時～21時）

日曜日・祝日（9時～17時）

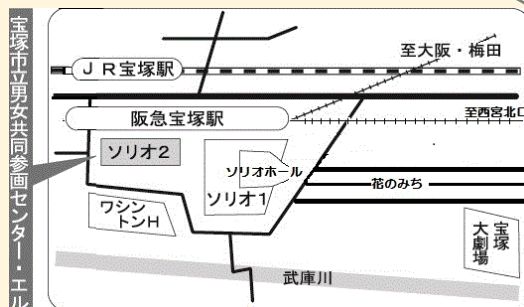
休館日：毎月第2日曜日・年末年始

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

TEL：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424



LineID：@763zrxid



ホームページ：<https://www.takarazuka-ell.jp/>
 メール：elsenternpo-empower@takarazuka-ell.jp